



融合・共生・インタラクション

中日文化比较研究论集

(第一辑)

主编 王秋菊

监修 孙久富
山本幸男
铃木德男



東北大学 出版社
Northeastern University Press

本论集由日本相爱大学人文科学研究所资助出版

中日文化比较研究论集

(第一辑)

主 编 王秋菊

副主编 王 岩 王 健

监 修 山本幸男 铃木德男 孙久富

东北大学出版社

· 沈 阳 ·

© 王秋菊 2014

图书在版编目 (CIP) 数据

中日文化比较研究论集. 第1辑: 日文 / 王秋菊主编. —沈阳: 东北大学出版社, 2014. 9

ISBN 978-7-5517-0692-6

I. ①中… II. ①王… III. ①比较文化—中国、日本—文集—日文
IV. ①K203-53 ②K313.03-55

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2014) 第 157600 号

出 版 者: 东北大学出版社

地址: 沈阳市和平区文化路3号巷11号

邮编: 110004

电话: 024-83687331(市场部) 83680267(社务室)

传真: 024-83680180(市场部) 83680265(社务室)

E-mail: neuph@neupress.com

http: //www. neupress. com

印 刷 者: 廊坊市文峰档案印务有限公司

发 行 者: 东北大学出版社

幅面尺寸: 170mm × 230mm

印 张: 22.5

字 数: 425千字

出版时间: 2014年9月第1版

印刷时间: 2014年9月第1次印刷

责任编辑: 牛连功

封面设计: 杨薇薇

责任校对: 莫 文

责任出版: 唐敏智

ISBN 978-7-5517-0692-6

定 价: 69.00 元

前 言

2008年9月9日，首届“融合、共生、互动——中日文化比较研究国际学术研讨会”在东北大学拉开帷幕。会议由东北大学中日文化比较研究所所长、外国语学院副院长王秋菊教授主持。东北大学校长赫冀成教授、日本驻沈阳总领事馆松本盛雄先生，日本长滨生物医学工程大学吉田保理事长等出席会议并致辞。

首先，东北大学校长赫冀成教授代表学校向研讨会的召开表示祝贺，对莅临会议的专家学者表示欢迎。他说，东北大学本着面向世界、开放办学的理念，先后与22个国家和地区的112所大学、科研院所建立了学术交流关系，特别是在与日本的交流方面，取得了显著的成绩。在中日两国关系转暖、积极合作的背景下，召开中日文化比较研究国际研讨会，将成为加强中日文化交流、增进相互理解、促进研究合作的一个新的起点。赫冀成希望东北大学中日文化比较研究所能够通过中日两国热爱和平、潜心研究的专家学者们的共同努力，发展成为东北大学与日本进行交流合作的平台，成为中日科技与文化交流的重要窗口。松本盛雄总领事也在开幕式上致辞，希望研究所能够融合中

日文化差异，相互合作，共同发展，将研究所办成在国内
外有广泛影响的一流研究所。

其次，王秋菊教授和孙久富教授分别介绍了东北大学
中日文化比较研究所成立的背景、机构组成及研究所的研
究规划等，并指出研究所将在“未来的文化将是科学与人
文融合的文化，是不同文化不断交融的文化”的大背景下，
认清 21 世纪中日文化研究的新特点与趋势，在“求同存异”
“和而不同”的路径中，加强中日两国文化的比较研究与
交流。

开幕式结束后，原辽宁省社会科学院副院长、东北大
学文法学院名誉院长彭定安教授和日本京都教育大学名誉
教授青木五郎先生分别为本届研讨会作了题为《中日文化：
比较、交流与共建》和《以东北大学为信息基地共同构筑
东亚文化圈之共生模式》的主题演讲。9 日下午，会议开
设两个分科会场，由中日两国 50 余位专家学者分别围绕中
日文学文化比较、科学技术与文化两大主题发表了演讲。

本次研讨会邀请了来自日本的东京大学、京都大学、
京都教育大学、大阪大学、名古屋大学、东北大学、立命
馆大学、日本大学、明治大学、相爱大学等十余所大学的
日本专家学者 15 人，以及东北大学、大连理工大学、大连
外国语学院、辽宁大学、中国医科大学、渤海大学等国内
10 余所高校及科研院所的教授和学者 40 余人，以 21 世纪
人文文化的发展趋势为论题，从“融合、共生、互动”的
角度，就人文文化与科学文化的交叉研究展开了深刻而热

烈的学术研讨。

众所周知，中国与日本是一衣带水的邻邦，拥有两千多年的悠久的文化交流史。然而，中日文化比较研究在中国可以说是近百年的事。在中国，由于一直以来认为与日本文化“同文同种”，从而采取“文化俯视”的态度，以至于中日两国间文化冲突不断，影响了两国在各个领域的交流与合作。东北大学中日文化比较研究所正是顺应新时代的需求，为科学文化与人文文化的融合、共生搭建平台，促进中日两国学者间的研究互动，为中日两国搭建真正理解与互相交流的桥梁。

首届“融合、共生、互动——中日文化比较研究国际学术研讨会”是由东北大学中日文化比较研究所、东北大学“985工程”科技与社会(STS)哲学社会科学创新基地、东北大学外国语学院共同主办，从会议的召开到《中日文化比较研究论集》的出版，得到了东北大学教务处、国际合作与交流处、科技处及东北大学产业集团、东北大学冶金技术研究所有限公司及日本相爱大学人文科学研究所的大力支持与资助。同时，承蒙日本国际交流基金会为编者提供了赴日学术交流与合作的机会，使得本次学术研讨会得以顺利召开，在此表示最诚挚的谢意！

编 者

2009年12月

目 录

融合、共生、互动——中日文化比较国际学术研讨会致词……………赫冀成(1)

融合、共生、インタラクシオン

——中日文化比較国際フォーラムにおける挨拶……………松本盛雄(3)

中日文化比較国際シンポジウム開会式における挨拶……………吉田保(5)

中日文化比較国際シンポジウム開会式における挨拶……………孫久富(8)

基調演讲

中日文化: 比较、交流与共建……………彭定安(15)

以东北大学为信息基地共同构筑东亚文化圈之共生模式……………青木五郎(25)

部会 A: 文学文化研究

東アジアの中の『万葉集』……………梶川信行(33)

《源氏物語》中和歌的中文翻译……………杜凤刚(49)

月のロマンス……………孫久富(55)

中日コミュニケーションにおける摩擦の原因について……………陳岩(77)

中国故事和歌二題……………鈴木徳男(88)

日中比較研究と正倉院文書……………山本幸男(105)

大伴坂上郎女の賀茂神社奉拝……………	野口恵子 (116)
日本語コミュニケーション能力を高める教授法の 研究……………	王岩 馬小力 (122)
森鷗外と『高瀬舟』の庄兵衛、喜助……………	陳永岐 李宗鵬 (138)
トータル学習としての外国語学習(1)……………	山田高志郎 (152)
日本語借用語とさられている「医学」の 語源について……………	王岩 馬賽 張永娟 (166)
日本茶道の性格を成す禅的要素をめ ぐって……………	趙芸 唐娜 楊雲冰 (179)
中秋節をめぐる習俗の中日比較 研究……………	李升太 宋菲菲 孫新新 (188)

部会 B: 科技文化研究

近代西欧数学の中日比較……………	佐々木力 (207)
封建的人間、資本主義的人間および共産主義的人間の問題 について……………	大西 広 (234)
技術伝播と文化整合……………	陳凡 (242)
居住行為様式の変化と住宅環境の変化で生じる衝突……………	羅玲玲 (255)
大学の使命・大学の精神及び大学の文化についての試論……………	孫雷 (276)
日本人の精神基盤形成に及ぼした中国仏教と儒教……………	丸川雄浄 (283)
中国と西洋の伝統価値基準の下での『道を以て術を馭す』 及びその影響……………	王健 (293)

収入格差から見た日本・新自由主義経済政策およびその

動向……………王海濤 譚曉軍 (304)

近代の中日・日中間における科学技術の地位逆転要因に

関する解析……………王秋菊 (311)

考证中日建交过程中的历史问题及其认识差异……………毕克寒 (322)

『中体西用』と『和魂洋才』の比較研究……………殷国梁 (338)

融合、共生、互动

——中日文化比较国际学术研讨会致词

东北大学校长 赫冀成

尊敬的日本国驻沈阳总领事馆总领事松本盛雄先生

各位专家、学者，女士们、先生们：

大家上午好！

中日文化比较研究国际学术研讨会今天在这里隆重举行，我代表东北大学，并以我个人的名义对会议的召开表示热烈的祝贺，对莅临会议的各位专家学者表示诚挚的欢迎！

东北大学是一所具有 85 年建校历史的国家重点大学之一，目前正在进行“985 工程”二期建设，为实现“多科性，研究型，国际化”的国内一流、国际知名的高水平大学的建设目标而努力奋斗。

本着面向世界、开放办学的理念，我校先后同 22 个国家和地区的 112 所大学、科研院所建立了学术交流关系；邀请了两千余位外籍专家来校任教、讲学和合作科研；聘请了数百名国内外著名学者为名誉教授和兼职教授；常年选派教师出国进修、讲学和科研合作。特别是在与日本交流方面，取得了显著成绩。

今年 5 月胡锦涛主席访问日本的“暖春之旅”，对加强两国间的战略合作伙伴关系，进而促进整个亚洲区域的经济与社会发展，都有着十分重要的意义。

在这样前所未有、积极合作的大背景下，召开中日文化比较研究国际学术研讨会，中日两国学者共同探讨以和谐、共生、互动为主题的文化比较研究，

将成为加强中日文化交流、促进相互理解、增进研究合作的一个新的起点。

同时，这次学术会议召开的召开，也标志着我校在人文文化与科学文化交叉研究领域迈出了更坚实的一步，并将促进我校人文学科的学科建设和科学研究的发展。

2008 年是中日和平友好条约缔结 30 周年，同时也是中日青年文化交流年。中日之间进行文化交流既要考虑到两国文化的差异，又要寻找其共同点，发挥文化交流深层次的作用。

我衷心希望，东北大学中日文化比较研究所能够通过各位乃至中日两国热爱和平、潜心研究的更多学者的共同努力，发展成为东北大学与日本进行交流和合作的平台，成为中日科技与文化交流的主要窗口。中日两国学者要“以史为鉴，面向未来，珍爱和平，维护和平，让中日两国人民世代友好下去”，充分发挥中日科技与文化交流的桥梁与纽带作用。

最后，衷心祝愿各位专家学者身体健康！预祝大会圆满成功！

谢谢！

融合、共生、インタラクション ——中日文化比較国際フォーラムにおける挨拶

日本国在瀋陽日本総領事館総領事 松本 盛雄

尊敬する東北大学赫冀成学長、尊敬する来賓の皆様、学生の皆様：

本日ここに東北大学中日比較文化研究所設立式典及び国際フォーラムに出席でき光栄です。まず、在瀋陽日本国総領事館を代表してこころよりお祝い申し上げます。また、日本から遠路はるばるおいでいただいた日本側専門家各位のご来訪を歓迎いたします。

先ほど赫学長より本研究所及び日中関係などについて詳細なご挨拶がありました。すべての点で私は学長のご意見に賛成します。

ご存じの通り、日中関係はこの2年あまりの間に、両国の指導者による相互訪問などを通じて大きく発展してきました。目下、両国は「戦略的互惠関係」の構築を目指して新たな局面を迎えています。そのような時期にこの研究所が発足することは誠に時宜を得たものであります。「戦略的互惠関係」とは幅広い意味を持つものでありますが、私は、両国指導者間の共通認識として最も重要なのは、相互理解と信頼の増進であると考えています。そのために日中双方の交流が不可欠であり、文化の比較ということも不可欠です。従って、それを実際に推進していく母体である本研究所の設立は大いに意義のあることであります。

この中国東北地方は東アジア地域において戦略的に重要な位置を占めています。昨今、政治・経済を含め世界情勢がめまぐるしく変化する中であつ

て、この東北地方において日中両国がともに交流と協力を強化していくことは、東北アジア地域の平和と安定、ひいては世界の平和と安定に大きく貢献するものであります。

東北大学は創立以来これまでに多くの優秀な人材を輩出されてきました。とりわけ日中関係における人材は、赫学長を始め多くの本学指導者が日本留学経験を有することからもわかるとおり極めて充実しています。

このように天の時、地の利、人の和という条件を具備した東北大学中日比較文化研究所は、今後日中間の比較文化という学術交流の強化だけでなく、日中の友好増進のために大いにその力を発揮していくものと確信しています。

最後に、本フォーラムの成功をお祈りするとともに、ご在席の皆様のご健勝を祈念し、ご挨拶と致したいと思います。

ご静聴ありがとうございました。

中日文化比較国際シンポジウム開会式における挨拶

日本長浜バイオ大学理事長 吉田 保

今日は、東北大学日本文化比較研究所の初めての国際的事業であり、研究所活動の事実上のスタートを告げる意義あるシンポジウムを、かくも多数の参加者を得て開会できましたことを、皆さんと共に喜びたいと思います。

開会を迎えるに当たって、東北大学の赫冀成学長を初め、関係する諸先生方、日本語学部並びに外国語学院の先生方、とくに中日文化比較研究所所長の王秋菊先生と関係スタッフの皆さんのご献身とご尽力に、心から敬意を表し、感謝を申し上げる次第です。

また、国際シンポジウムにふさわしく日本の東京、京都、大阪などから50名あまりの、専門の先生方に遠路をかまわずご参加していただいております。改めて感謝とお礼を申し上げる次第です。

さて、私は、中日文化比較研究所のスタートを飾ることになったシンポジウム開催が、今日、如何に重要な意味を持っているのか。又、中日文化比較研究所のこれからの活動と事業が中日間はもとより、国際的にも高く評価され、大きな期待が寄せられていることについて、大成功を収め終了した北京オリンピックの例を取り上げて私なりの見解を述べさせていただき、研究所顧問としてのご挨拶に変えさせていただきます。

ご承知のとおり、北京オリンピックは全世界の人々をテレビの前に釘付け

にしました。まさに、オリンピック史上、最大規模、最高水準、最高記録を出して幕を閉じ、今世紀を代表するスポーツイベントとして大成功を収めました。

私はここで、北京オリンピックの成果や問題点について総括的に指摘したり、評価しようとは思っていません。私が申し上げたいことは、北京オリンピックが、私どもの中日文化比較研究活動にとって格好の研究テーマと課題を、提起してくれているのではないかということです。

すなわち、オリンピックというのは開催当事国はもとより、参加する国々や地域・民族の「歴史的で多彩な文化状況」が象徴的にかつ集中的に反映される、国際的な一大文化催事です。それはスポーツ文化を初めとして、健康・生活文化、科学技術文化、都市・建築文化、芸術・放送文化、歴史文化、環境保全文化、社会経済文化など、実に多彩で総合的なものです。特に開催当事国の「多彩な文化状況」と、その「成熟度」を、見事なほど鮮やかに、かつ華やかに表現し、全世界に発信するステージとなります。

したがって、世界の人々はマスコミを初めとする多様なメディアを通じて、中国の今日の「文化状況」とその到達点を知る、絶好の機会となりました。

しかし、そこから知り得た、中国の「文化状況」についての理解が、現実に照らして客観的で正確なものであったか、どうかについては、残念ながら問題あり、といわねばなりません。つまり、世界の国々や人々の中国の文化や歴史に関する知識や情報量、その理解の程度によって、異なった印象と受け止め方に差が生じたことは否めません。それにより、当然のことながら、オリンピック終了後は、国々によってさまざまなリバウンドが起きました。

ちなみに、日本におけるオリンピックの開会式や閉会式等に見られたマスコミの報道傾向や、オリンピックを終えての「総評」的な論調の一端を紹介してみましょう。一言でいって「成果を過小に」「客観性と公正さを欠いた」、いわゆる傾向性の強い情報が流されて、説得力がありませんでした。

即ち、中国の「大国主義的」な傾向や、「中国脅威論」を煽りながら中国の環境問題や民主主義、民族問題などについての理解の無さ、立ち遅れなどを取り上げて、中国が依然として抑圧的な国であることを印象づけていたことが目立ちました。つまり、主として日本側に責任のある根深い偏向した歴史認識（歴史文化）を背景とした、中国の目覚ましい経済発展に目をつむる「脅威論」、未だに根強い民族蔑視の日本大国主義（ナショナリズム）の考え方などは、日本のマスメディア（放送文化）が影響を与えていることは間違いありません。

私が結論的に申し上げたいことは、オリンピックは4年ごとに一回開かれる、世界的に多様な民族文化が集合し、同時に人類が創り出してきた文化の成果が総合的に花開き、触れ合い融合する一大文化イベントであるということです。

だからこそ、それぞれの国と人々が育ててきた固有の歴史と文化を理解し、共有化していくこと。さらに、国境を越えた日常的な文化交流活動をもっともっと盛んにして、真実と人間の尊厳、平和と豊かな人類社会の持続的発展に役立つ、文化の発展を目指さねばなりません。その意味で、東北大学中日文化比較研究所の果たす役割は大きく重要であり、その活動への期待は絶大なものがあります。

このシンポジウムを出発点として研究所活動を盛んにし発展を期しましょう。私も微かながら、頑張らさせていただきます。

どうもありがとうございます。

中日文化比較国際シンポジウム開会 式における挨拶

日本相愛大学教授 孫久富

尊敬的各位領導、各位來賓、女士們、先生們、大家好：

遵照所長王秋菊女史的指示，請允許我以日方所長的身分用日語來簡單地說明一下，中日文化比較研究所今後的規畫及今後的研究活動，尚請諸位不吝賜教，提出寶貴意見。

皆様、お早うございます。ご紹介に預かりました日本側所長の孫久富でございます。どうぞよろしくお願い致します。

昨年、花の咲き乱れる皐月に、王秋菊所長のお誘いを頂き、今年、さわやかな仲秋節に、中日文化比較研究所の設立を迎えることができました、まさに「春花秋実」という言葉の通りでございます。赫冀成学長をはじめとする東北大学の指導部の御指導と力強いバックアップに、そして王秋菊所長をはじめとする研究所の諸先生方の並々ならぬご努力とその迅速な行動力に深い感銘を覚え、甚だ敬意を表するとともに、研究所の設立に心よりお祝いを申し上げる次第でございます。

また日本の大学に勤めている中国人の私を信頼して、日本側の所長という前例のないご任命をくださいました東北大学に心より感謝の意を表すると同時に、本日、お忙しい中をお集まりを頂き、今後、研究所の発展を支えてくださる中日両国の研究者の皆様にも、日本側所長として、熱烈なる歓迎と深謝の意を表したいと思います。